

船舶事故調査報告書

令和2年7月22日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突（岩）
発生日時	令和元年8月25日 15時50分ごろ
発生場所	和歌山県和歌山市加太港北方沖 地ノ島灯台から真方位080° 1,100m付近 （概位 北緯34° 18.0′ 東経135° 04.3′）
事故の概要	ミニボート（船名なし）は、航行中、岩に衝突した。
事故調査の経過	令和元年12月5日、主管調査官（神戸事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	ミニボート（船名なし）、総トン数なし（長さ約2.5m） なし、個人所有
乗組員等に関する情報	操縦者
負傷者	なし
損傷	右舷船首部に亀裂
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西南西、風力 3、視界 良好 海象：波高 約1m
事故の経過	本船は、操縦者ほか1人が乗り、釣りを終えて帰航中、風浪が強くなってきたので、避難の目的で最寄りとなる陸岸の砂浜に向かっていったところ、岩を避けることができずに衝突した。 操縦者は、本船が2馬力の船外機付きゴムボートであったので、荒天下では、操縦が困難であったと本事故後に思った。
分析	本船は、陸岸の砂浜に向けて避航中、操縦者が風浪で操船が困難な状況で岩に接近して航行したことから、岩に衝突したものと推定される。
原因	本事故は、本船が、陸岸の砂浜に向けて避航中、操縦者が風浪で操船が困難な状況で岩に接近して航行したため、岩に衝突したものと推定される。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・ミニボートは、風潮流に圧流されやすいので、天候の変化に注意し、荒天になる前に帰航すること。